

国際センターの国際交流活動への取り組み

— 2018年度 国際交流推進室の活動報告 —

Approach to international exchange activities of the International Center

— 2018 International Exchange Center Activity Report —

経営学部現代経営学科

田村 綾子

TAMURA, Ayako

Department of Contemporary Business

Faculty of Business Administration

要旨： 本学における外国人留学生関連業務は、国際センターのグローバル・スタディー室、国際交流推進室、外国人留学生サポート室が担っている。その中で、国際交流推進室は、外国人留学生のための文化体験イベントの充実と学内の国際化の推進を主な業務とし、地域社会と連携しながら、その任に当たっている。本稿は、2018年度の国際交流推進室の国際交流活動への取り組みをまとめたものである。

キーワード： 留学生、国際交流、文化体験、地域連携

1. はじめに

2018年度は、2017年度の組織が改変され、昨年度まで、「グローバル・スタディーセンター」、「国際交流センター」、「留学推進室」が執り行っていた業務が、「国際センター」に統合された。国際センターの中には、4つの分室、「グローバル・スタディー室」、「国際交流推進室」、「外国人留学生サポート室」、「グローバルリンク推進室」が設けられ、それぞれの業務を行うこととなった。

「国際交流推進室」は昨年度の「国際交流センター」の業務内容を受け継ぎ、以下の業務を行うこととなった。

- ①外国人留学生対象の文化体験イベントの充実
- ②日本人学生と留学生の交流の活発化による学内の国際交流の推進

国際交流推進室は、その名の通り、国際交流活動を推進する部署であり、外国人留学生（以下留学生）を中心とした国際交流活動を担っている。

2. 2018年度在籍の留学生について

2.1. 留学生の内訳

2013年度より本格的に受け入れを開始した留学生の数は、着実に増加している。現在、留学生は、次世代教育学部国際教育学科と経営学部現代経営学科が受け入れているが、国際教育学科は2016年度より学生の受け入れを停止しており、現在残っている3年生、4年生の卒業後は、留学生を受け入れるのは現代経営学科のみとなる。

別科生については、2015年秋より受け入れを開始し、ほとんどの学生が半年間の予備教育の後、本学の現代経営学科に入学している。

2018年度5月現在の外国人留学生の人数を、表1にまとめた。表を見てわかるように、ベトナム国籍の学生が最も多い。

表1 2018年5月現在の留学生数

	学部	別科	合計
ベトナム	280	10	290
タイ	5	3	8
中国	8	1	9
韓国	2	0	2
モンゴル	1	0	1
ケニア	1	0	1
アメリカ	1	0	1
ネパール	1	0	1
合計	299	14	313

2.2. 留学生の国際交流に関する意識

本学では留学生用の科目として「国際交流実習Ⅰ」, 「インターンシップⅠ」という科目が設定されている。これは、国際交流イベントに参加した、若しくは国際交流イベントの運営スタッフとしてイベントを運営した場合、その内容と参加回数、参加したイベントに関するレポート提出等で単位認定されるものである。今年度は、国際交流実習Ⅰでは56名、インターンシップⅠでは21名の単位が認定されている。

この授業で課されるレポートは、いつ、どこで、何というイベントに参加し、そのイベントはどのようなものであったかという必要事項の他は自由記述としている。留学生は、イベントの何に満足し、何に不満を感じたか、またイベントをどのように評価しているか、自由に記述する。そのレポートの記述から、留学生が何に対して評価しているか抜きだしたところ、①文化紹介や他の参加者と話すことで異文化を知ることができること、②新しい文化体験ができること、③自身の文化を伝え、相手に興味を持ってもらえること、④交流活動に貢献できたことに強い満足感を得ることが推測された。

3. 国際交流推進室の活動方針

2018年度、国際交流センターでは、以下の3点に力を入れ、国際交流活動を行った。留学生が興味を持ち、評価している点について、活動内容に組み入れた。

1) 地域社会との連携強化と、学外へ向けた留学生教育充実のアピール

現在、連携をしている地域に関して、その連携を強めるとともに、留学生が単にイベントに参加するだけでなく、運営スタッフとしても関わらせていただくように地域との関わり方を変えた。

運営スタッフとして留学生をイベントに関わらせるのは、イベント主催者である地域の方に本学の留学生の能力を知っていただく目的がある。

2) IPU学内での国際交流の促進

ゼミナールやサークル、また学友会との連携を図り、学内で国際交流のイベントを行った。また、積極的にゼミナールの中での国際交流活動、国際交流に関わるサークル活動を支援した。

3) IPUNZとの連携強化

具体的には、IPUNZにおける日本語・日本文化の教材の支援、IPUNZからの短期留学者に対する国際交流の機会の提供、3月の日本短期研修への支援を行った。

4. 2018年度の国際交流推進室の活動

4.1. 地域との連携

今年度は、岡山県内の早鳥町、赤磐市、矢掛町、倉敷市（倉敷「国際ふれあい広場」実行委員会）、岡山市内の瀬戸町、朝日町、と連携を取り、国際交流イベントを行った。

4.1.1. 早鳥町との連携

早鳥町生涯教育課、早鳥町教育委員会と連携を取り、国際交流活動を行った。

1) 早鳥町の国際交流活動への取り組み

早鳥町では、早鳥学校教育ビジョンを掲げ、学校教育、生涯教育において様々な取り組みをしている。早鳥町が本学の留学生と交流会を行う目的は昨年度と同様以下のようにまとめられる。

①環太平洋大学の留学生との交流を通して、様々な国の様子を知り、世界への視野を広げられるようにし、早鳥の魅力英語で発信することで早鳥を誇りに思う心を育てる。

②英語やその他、留学生の母国語での言葉の交流を通して、間違いを恐れない態度や積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を培う。

2) 交流内容

(1) ロゲイニング

a. 「ロゲイニング」の概要

昨年同様、4回のロゲイニングが行われた。ロゲイニングは、昨年の報告書にも書いたが、オリエンテーリングに似ている活動である。地図上に示されたチェックポイントを回り、その回ったチェックポイントの多さで得点が得られるゲームである。

早島町のロゲイニングでは、早島の歴史的な建造物や生活に必要な施設、その季節に見られる花や鳥などがチェックポイントになっており、発見の難易度によって点数が決められている。早島町の中を巡りながら、早島について知ることができるようなルートが整えられている。チェックポイントを発見した証拠として写真に撮ることになっており、制限時間内にゴールできないと減点される。

早島町で行うロゲイニングの目的は、①小学生や地域の方が、留学生という異文化に触れ、異文化を通して地域を再発見する、②留学生が日本や早島町を知り、日本についての理解を深め、自文化を内省する、この2点である。

ロゲイニングのグループは、常に小学生、地域の方、留学生の混合グループであり、協力してチェックポイントを探すこととなる。また、終了後に、お互いの発見を発表し合うという時間も取ることで、より深い理解と学びの場が提供されている。

早島町では、この活動に力を入れており、毎回20名前後の小学生が集まり、留学生と共に早島町を巡っている。小学生の方が早島を知っているので、ゲームは小学生を中心に行われるが、グループ内の地域の方が、留学生に地域の歴史を説明したり、小学生と留学生の会話を取り持ってくれたり、昨年以上にグループ内の活動をコントロールしている様子が見られた。



図1 ロゲイニングの参加者

b. 実施日

5月12日(土)、6月16日(土)、11月10日(土)、12月8日(土)の計4回実施した。添付した資料にあるように、毎回15人~20人の留学生が参加し、日本人参加者と合わせて、30~40人規模のイベントであった。

c. 学生の反応

小学生も地域の方も、昨年度留学生とロゲイニングをした経験者が含まれていたためか、留学生と打ち解ける時間が短く、留学生もうまくコミュニケーションが取れていた。

早島は小さな町であるが、きれいな町で、留学生たちは町を巡ることを楽しんでいました。

(2)「アジアの国のお話会」

a. 「アジアの国のお話会」の概要

早島町立図書館と協力し、開催した事業で、早島町の「ゆるび舎」で行った。留学生の出身国の昔話を、留学生が母国語で、そして、小学生がその翻訳を日本語で語る会である。小学生は早島町立図書館の図書館ボランティアをしている小学生が順番に務めてくれた。

留学生は、毎回10名前後参加する。「お話」の前に簡単な「お話」が生まれた国の紹介をし、「お話」の後には、小さなグループに分かれての交流を行った。

今回は、回数を少なくしたのだが、昨年に比べ、親子連れの参加が多く、幅広い年齢層の参加者が集まった。今回は、モンゴルの「仔馬と大きな袋」のお話についてこの後どうなったか考えてみようと言うアクティビティを行った。数名参加していた幼稚園児には難しかったようだが、小学生以上の参加者からは様々な意見が出され、発表でも盛り上がりを見せた。

b. 実施日とお話のタイトル

8月4日：「スターフルーツの伝説」(ベトナム)

「仔馬と大きな袋」(モンゴル)

9月22日：「キウイの羽はなぜないの」

(ニュージーランド)

「穴の中のモンスター」(ベトナム)

12月15日：「ニュージーランドのクリスマス」

(ニュージーランド)



図2 お話会の様子

c. 学生の反応

自分たちの国の言葉で物語を読んで、留学生にとって、大きな喜びのようだ。日本人の子ども達、特に園児の反応が非常によく、留学生の母国語を聞いた園児たちは、意味がわからないにもかかわらず、熱心に聞いていた。その様子を見て、留学生も達成感を感じているようだった。

(3) 早島生涯学習まつり「いきいき広場」

今年度は、早島町の町民文化祭である「いきいき広場」で、ブースを置くとともに、他のブースにてボランティアスタッフとして活動を行った。

a. 早島生涯学習まつり「いきいき広場」の概要

早島町の生涯教育の中で行われている町民文化祭で、毎年、中央公民館とその敷地で開催される。早島の歴史や産業を学び、体験ができる。町民による屋台も多数出店する。

b. 実施日と内容

日時：11月4日（日）11：00～15：00

会場：早島中央公民館

留学生は、時間を決め、「ベトナム」、「中国」、「ニュージーランド」、「タイ」の文化紹介を行った。また、民族衣装着付け体験、「留学生と話そう」という企画を実施した。

また、ポッチャ、花ごぎ織体験、将棋、ボルダリング、スラックラインなどの地域の方々が運営しているブースで、ボランティアスタッフとして活動した。

また、本事業は『(公財)中島記念国際交流財団助成』（独）日本学生支援機構留学生地域交流事業として認められ、補助金を得た。



図3 いきいき広場受付

c. 学生の反応

早島町の担当者と打合せが足りなかったのか、若干、事前打ち合わせと違う点があったため、戸惑う学生が見られた。仕事の割り振りの連絡がうまくいか

ず、数人の学生に負担がかかるということも起きた。

全般的には、楽しく過ごせたのであるが、反省点が学生側から出された。以下は、学生から出された反省点である。

①スタッフ間の連絡がうまくいっていなかった。そのため、交代要員が遅れたり、来なかったりして、仕事が集中した学生がいた。

②早島町側の受け入れが、事前に聞いていた情報と違った。もう少し、連絡をとってほしい。

③地域の方との交流はできた。手話、い草の工作等、新しい体験ができ、また、対応してくれた人たちが優しかった。

以上のように、事務局の情報共有の悪さを指摘しつつも、交流はできたと言う意見が大半を占めた。

(4) 早島IGUSA花ごぎピンポン世界大会

「早島IGUSA花ごぎピンポン世界大会」は今年度初めて開催され、本学の留学生は実行委員、選手として参加した。

a. 早島IGUSA花ごぎピンポン世界大会とは

「早島IGUSA花ごぎピンポン世界大会」は「花ごぎ」を使ったラケットによる卓球大会である。

「花ごぎ」は、い草で作られた伝統工芸品で、早島町では古くからい草栽培や「花ごぎ」づくりが行われているが、需要が年々減少してきている。そこで、「花ごぎ」を使って地域おこしをすることになり、この「花ごぎ」を使ったラケットが考案された。

大会開催のために6月から実行委員会が発足し、本学から2名の留学生、王偉、グエン スアン ドウイク ヒエンが実行委員として活動をした。

b. 実施日と内容

①実行委員会開催日時

6月30日（土）9：30～12：00

9月29日（土）9：30～12：00

11月17日（土）9：30～12：00

3回の実行委員会がゆるび舎、早島中央公民館で開催されたが、アルバイトの関係で、留学生の参加は9月30日のみであった。

②ピンポン大会当日

日時：11月23日（金）8：30～15：00

会場：早島中学校体育館

当日は、日本語と英語による司会進行があり、英語を留学生が担当した。県知事と早島町長による模範試合等の後、試合が開始された。この大会はダブルスのみで行われ、128人64組が参加した。内、本学の留学生は30人15組が参加した。

留学生は初めての花ごぎピンポンとあって、なかなか勝つことはできなかったが、ニュージーランドからの短期留学生のペアが予選を勝ち抜き、「ヒーロー賞」をいただいた。

この日は、新聞、テレビのメディアが多数入っており、メディアからインタビューを受ける学生も多数いた。



図4 花ごぎピンポン

また、会場の外に飲食コーナーが設けられており、留学生も、揚げ春巻きとバインミーを販売した。

c. 学生の反応

朝、出発が早かったためか、数名欠席をしてしまった。しかし、参加した留学生は、楽しく1日を過ごすことができた。

一般参加者以外の実行委員となった留学生は、司会や誘導等をうまくこなしており、高い評価を得ることで、満足感を感じているようであった。

(5) その他の活動

早島町では、上記の他に様々な活動を行った。

a. 早島中学校でのHayashima English Day

実施日：9月8日（土）9：00～12：00

早島中学校の授業参観日に設定された行事である。今年度はニュージーランドの学生3名を含む、23名が参加した。

b. 土曜英会話塾

早島中央公民館で行われている、小学生向けの英語のクラスである。ロゲイニングの後4回参加している。小学生の会話の相手や、英語による母国の紹介を行った。

c. 「まなび舎講座（大人のはやし塾）」

実施日：12月22日

まなび舎講座は生涯教育の一環で行われている、地域の社会人向け教養講座である。この講座で地域の方にベトナム料理の講習会を行った。

d. 「中学生だっぴ」と「パラスポ チャレンジデイ キャラバン」

早島町からの急な依頼で、留学生を募った。

「中学生だっぴ」は「だっぴ」というNPO法人が中学生のために行っているキャリア教育で、中学生と大学生、社会人が仕事や人生の様々なことを提示された「お題」に沿って話し合うものである。1月12日に実施し、本学から22名参加し、内留学生は8名であった。



図5 「パラスポチャレンジデイキャラバン」パンフレット

「パラスポ チャレンジデイキャラバン」は2020年のパラリンピックに向けた行事の一環で、ブラインド・サッカーやボッチャを経験したり、パラリンピックに参加予定の選手の講演会を聞く、というものである。2月16日に実施し3名の留学生が参加し、ボランティアスタッフとして活動した。

3) 早島町での活動について

早島町との交流活動は、地域に密着した交流ができ、同じ地域で同じ相手と複数回交流ができることも多いので、深い交流が可能である。このような活動ができるということは非常にありがたい。

しかし、早島の活動は数が多く、また、対応が難しい依頼もあるので、今後は、担当者と連絡を取り合いながら、どのような目的で、どのような活動を行っていくか精査していく必要があるように思う。

4. 1. 2. 赤磐市との連携

赤磐市は、本学の所在地である岡山市東区瀬戸町に隣接した市である。これまで、国際教育学科を中心にゼミ活動やインターンシップの活動などで協力関係にある。

1) 赤磐市との交流

(1) ブドウの収穫体験

赤磐市是里村でブドウの収穫体験、選果体験を行い、また、昼食を挟んで、ブドウの食べ比べ、歴史ツアーを行った。



図6 ブドウ収穫体験

a. 「ブドウの収穫体験」の概要

主催は、赤磐市産業振興部である。

是里村は、是里ワイナリーで県外や外国からの体験ツアーを受け入れており、この事業は是里村のブドウとワインを世に知らせる広報活動の一環である。

b. 実施日と内容

9月3日(月) 8:00~16:00

今年度は、タイからの団体を受け入れたそうで、その団体が収穫を予定以上に行ったため、本学の学生の収穫は昨年に比べ少なかった。

収穫するブドウはワイン用である。収穫後は、選果場で選果を行った。

作業の後は、「リゾートハウスこれさと」にて昼食をいただき、その後、ブドウの食べ比べを行った。昨年と違い、その場でアンケートに答え、ベトナムで人気が出そうなものを選んだ。最後に、宗形神社と血洗いの滝に案内していただき、歴史についても学ぶことができた。

c. 学生の反応

珍しい体験ができ、またお土産のブドウをたくさんいただいたので、学生はかなり満足することができたようだ。

(2) 是里村運動会

実施日:10月7日

今年度も、是里村での村民運動会に参加させてもらった。参加は今年で2回目になる。老人や小中学生が中心の運動会なので、留学生にも無理なく参加できるものである。

今年は、留学生の出しものとして、ベトナムの「手洗いダンス」を行った。地域の方々とも一緒に踊れるものなので、会場にいる参加者全員が楽しむことができた。

交流するために、昼食などは一緒に取れるようにと

市の担当者をお願いしていたのだが、座る場所が分けられていた。しかし、留学生も町民も、分けを気にすることなく、お互いの席に座り、会話を楽しんでいる様子が見られた。

また、運動会終了後、赤磐の「かかしフェスティバル」会場に連れて行っていただき、たくさんの案山子と、コスモス、模擬店を楽しんだ。

2) 赤磐市との連携について

赤磐市と留学生の交流はまだ少ないが赤磐市は上記のような活動、特に山間部で人口が減少している地域の活性化を目的とする交流活動に積極的である。今後、一緒にどのような活動ができるか考え、協力していきたい。

4. 1. 3. 倉敷国際ふれあい広場実行委員会との連携

a. 倉敷国際ふれあい広場の概要

倉敷国際ふれあい広場は、今年で28回目を迎える歴史のある国際交流イベントである。主催は「倉敷国際ふれあい広場実行委員会」であり、倉敷市国際交流課に事務局を置いている。今年度は、筆者も実行委員の一人に加えていただき、展示部門に関わった。

倉敷国際ふれあい広場は、日本人市民と外国人市民の相互交流の機会を提供し、地域の国際化を推進するイベントとして毎年開催されている。

会場は倉敷市芸文館であり、世界の料理屋台やフリーマーケット、世界各国の歌や踊りのパフォーマンス、スタンプラリーや世界一周ゲーム、中国民間文化伝統展示、ニュージーランドまるわかり、英語俳句、外国人なんでも相談コーナー、などのプログラムを通して、国際理解と交流を深めるイベントである。

b. 実施日、活動内容等

会場:倉敷芸文館

10月20日(土) 準備とリハーサル

10月21日(日)「倉敷国際ふれあい広場」当日

9:00~準備

10:00 イベント開始

イベント全体の内容

・様々な国のダンス・歌等のパフォーマンス

・パフォーマンス会場でのカフェ

・文化紹介

(日本・中国・ニュージーランド・ネパール等)

・多国籍屋台

・フリーマーケット

16:00 終了 片付け



図7 タイ文化紹介：タイ語で名前を書こう

今年度は、パフォーマンス（ベトナムのダンス・タイのダンス）、Iシアターでの「ベトナムカフェ」、展示部門での「留学生の文化紹介」、「民族衣装着付け体験」、フリーマーケットに参加した。

これらの活動の他に、ボランティアスタッフとして、受付、案内係、準備と片付けも行い、実行委員長から丁寧な礼状をいただいた。

c. 学生の反応

パフォーマンスは大好評で、学生も満足したようだった。

ベトナムカフェでは、今回はベトナムコーヒーを提供した。これも人気で、訪れる人が途切れることがなかった。

留学生は文化紹介、ボランティア等も積極的にいき、感謝されることで、満足感を得ているように感じた。

多国籍屋台や多くの文化紹介ブースを楽しみ、また、空き時間にはこの日行われていた倉敷のお祭りも見学していたようで、充実した一日になったようだ。

昨年は、途中で帰った者が多かったが、今年は、最後の片付けまでしっかり行うことができた。学生の成長を感じた。

この日、留学生以外に、国際交流サークルの学生が手伝いに来てくれていた。サークルの日本人学生とも交流を行い、1日で仲良くなっていた。

4.1.4. ベトナムフェスティバルin矢掛町

a. ベトナムフェスティバルin矢掛とは

昨年からはまったイベントである。ベトナム人実習生が日本、矢掛町の文化・生活を理解し、工場から外に出てくる場を提供するために始められた。また、矢掛町民は、実習生との接点がない。矢掛町民にもベト

ナム文化を知ってもらおうという目的も合わせて持つイベントである。

主催は、「ベトナムフェスティバル実行委員会」であり、その中心となる方が、町や実習生の所属している工場や会社に働き掛け、実現した。

イベントでは、IPUのベトナム人留学生が中心となり、①ベトナム料理の屋台、②ベトナム語のカラオケ大会とダンス等のイベントを盛り上げた。

会場には、本学の留学生の他、矢掛町の人々による屋台が並び、ベトナム人研修生及び留学生は無料ですべての料理を食べることができる。ちなみに、町民は500円で入場料を支払えば、すべての料理を食べることができる。

b. 実施日と内容

会場：やかげ町家交流会館 谷山サロン

11月18日（日）

屋台：11：00～（食材が終了するまで）

パフォーマンス：11：00～18：00

第一部：文化発表、ダンス、歌、ビンゴ大会

第二部：カラオケ大会

屋台での販売が終わったグループから、矢掛町の見学ツアーに参加した。

屋台で使用する食材、機材は全て「ベトナムフェスティバル実行委員会」が提供している。

c. 学生の反応

学生にとっては非常に楽しい一日となったようだ。矢掛町の人々と交流するだけでなく、研修生たちとの会話も弾み、特にカラオケは盛り上がっていた。



図8 ベトナムフェスティバルの屋台

4.1.5. その他の地域連携による活動

(1) 瀬戸カーニバルへの参加

毎年、瀬戸駅近くの長嶋病院の駐車場で行われている夏祭りである。主催者は「社会福祉法人天摂会天」である。今年度も、ダンスパフォーマンスとベトナム

料理の屋台で参加させてもらっている。今年はベトナム人留学生によるダンスと音楽サークルによる歌、ベトナム料理の「揚げ春巻き」と「パインミー」で参加した。

例年になく、温度が高かったため、参加学生は大変だったようだが、楽しく参加していたようだ。

(2) 朝日町夏祭りへの参加

一昨年から、朝日町の夏祭りの手伝いをしている。屋台の手伝いをするだけなのだが、毎年多くの学生が参加し、地元の方々との交流を楽しんでいる。

4.2. 他の教育機関との連携

岡山県には県内の留学生受け入れ機関のネットワークがほとんどない。本学では、他の教育機関と連携を取り、昨年度から本学主催の「外国人による日本語スピーチコンテスト」を開催している。また、「大学コンソーシアム・岡山」主催の「エコナイト」にも参加した。

この他にも、国際交流推進室と直接関係がないが、次世代教育学部国際教育学科が窓口となり、岡山市内の小学校で留学生と小学生による国際交流会を行ったり、中国籍、ベトナム籍の児童に対する学習支援ボランティアを派遣している。

4.2.1. IPU主催「外国人による日本語スピーチコンテスト」

a. 外国人による日本語スピーチコンテストの概要

本学の留学生の日本語能力の向上、岡山県の国際理解・異文化理解教育への寄与を目的とし、本年度初めて本学主催の外国人対象の日本語スピーチコンテストを開催した。

岡山県ではこのような教育機関、所属機関を超えて、外国人を対象とした日本語スピーチコンテストは今まで行われていない。今回は、岡山県内の留学生が在籍する教育機関、岡山県内の外国人をつなぐネットワークを作るという大きな目標も掲げていた。

b. 実施日、スケジュール、内容等

このスピーチコンテストは、福武教育文化振興財団の助成を受けて行われた。スケジュール等は以下の通り。

- ・会場：岡山市民会館 大ホール（2階席は使用せず）
- ・開催日時：1月12日（土）
13：00～16：00（受付12：30～）
- ・出場者：14名（資料1参照）
- ・審査員：6名

審査員長

- ・学校法人アジアの風 岡山外語学院理事長

片山 浩子様

審査員

- ・一般財団法人 岡山県国際交流協会業務執行理事
兼事務局長 肥塚 秀文様
- ・特定非営利活動法人AMDA社会開発機構
理事長 鈴木 俊介様
- ・山陽新聞編集局総務 中田 秀哉様
- ・IPUNZ卒業生 WATT ABBEY LEE様
- ・環太平洋大学 学長 大橋 節子先生

オーディエンス：約300名

外部からの参加者は少なかったが、スピーカーの応援で、他の教育機関の教師やクラスメートが参加していた。

スケジュール

実施の前に、数回、学生スタッフの打ち合わせを行っている。当日のスケジュールは以下の通り。

- 9：00 市民会館集合・準備開始
- 10：00～10：45 司会・ダンス等リハーサル
- 11：00～11：45 スピーカーリハーサル
- 12：30 会場/審査員来館
- 13：00 開会
- 13：10～15：00 スピーチ
- 15：00～15：30 審査/ダンス・文化紹介
- 15：30～15：50 審査結果発表 表彰式 講評
- 15：50 閉会
- 15：50～16：00 写真撮影
- 16：00～ 片付け
- 16：45 退館 解散

審査結果

最優秀賞

環太平洋大学現代経営学科3年

Pham Thi Thu Ha

タイトル：茶道から気づいた「感謝」

－感謝は人生を豊かにする－



図9 スピーカーと審査員

c. イベントを終えて

①本学の留学生について

今年度は、倉敷高校、創志学園高校といった高校生の応募があった。また、応募はなかったが、朝日塾中等教育学校から問い合わせがあり、担当の先生がコンテストを見に来られた。

2年目とあって、スタッフも落ち着いて運営することができた。留学生もボランティアとして働いていたが、それぞれの責任をしっかりと果たし、周りを気遣いながら動くことができていた。これは、事前の打合せが十分であったこと、留学生一人ひとりに仕事に責任を持つという心構えがあったからだと思う。

②課題

オーディエンスを集めることが一番の課題である。また、スピーカーを集めるための方策も考える必要がある。

今年度参加してくれた教育機関はもとより、留学生が在籍する高等学校にも積極的に声をかけていきたい。

4.2.2. 大学コンソーシアム岡山主催「エコナイト」

岡山の大学からエコを広げようという活動で、省エネ等の推進のため、毎年県内の大学などで開催している「エコイベント」である。現在、23の大学、短期大学、専門学校が参加している。節電、ライトダウン、通勤時のマイカー自粛、浴衣で授業を受ける、グリーンカーテンを育てる、廃油を使ったキャンドル点火等の活動が行われる他、奉還町商店街でイベントが行われる。

イベントは、毎年7月初旬に行われ、本学では、2015年から参加している。今年度は7月14日にイベントが行われ、本学の留学生は学友会の学生と共にパフォーマンス、受付ボランティア、民族衣装の紹介に参加した。

場所：岡山市奉還町商店街

日時：7月14日（土）17：00～20：00

スケジュール：

13：00 集合 準備開始

15：00～ リハーサル

16：45 開会式準備

17：00 開会式・パフォーマンス開始

20：00 終了

今年度は、瀬戸カーニバルと日程が重なってしまったため、留学生も教員も二手に分かれざるを得なかった。

4.3. 学内の国際化

学内の国際化はなかなか成果が上がっていない。

今年度は、新入生歓迎会を春に国際交流推進室主催で行い、秋は学友会主催、国際交流推進室共催で行った。また、数年来行われている「外国語のど自慢大会」も開催した。

しかし、これらのイベントより「国際交流サークル」と「音楽サークル」が誕生したことが大きな国際化の一步となっているように思う。

1) 新入生歓迎会

実施日：5月29日（火）16：30～18：00

会場：ハーモニー2階

参加者：留学生、日本人学生合計77名

内容：IPUクイズ（IPUを知ろう）

音楽サークルの歌

ゲーム

新入生の参加も多く、日本人学生の参加もあった。

2) 外国語のど自慢大会

実施日：12月21日（金）16：30～19：00

会場：サザンクロス

参加者：80名程度

参加人数が非常に少なかった。これは日程の設定と別科生を参加者に入れなかったことが原因と考えられる。

4.4. その他活動

今年度は、恒例の「着物で初詣」の他、現代経営学科の瀬戸南高等学校のバクチャーを使った料理教室、地域のボランティア団体主催のお茶会への協力を行った。また、留学生の文化を大切にしたいという観点から、ベトナムの正月を祝うパーティーも行った。

(1) 着物で初詣

場所：岡山神社参拝と後楽園散策

日時：1月19日（土）11：30～14：30

参加者：35名

スケジュール：

8：30 フィロソフィア集合

着付け

11：00 フィロソフィア出発

11：30 岡山神社到着 参拝

後楽園へ移動 散策

14：30 後楽園出発

15：00 フィロソフィア着

毎年、多くの学生が参加している。男性の着物も年々増え、着物を着て参加する男子学生も増えている。



図10 岡山城の前で記念撮影

(2) ケア・フレンズ岡山のお茶会参加

今年度も「ケア・フレンズ岡山」のチャリティー活動の一環として行われたお茶会に参加した。

参加したのは茶道サークルの留学生である。留学生の役割はお運びで、お茶を介して参加者と話をする姿が見られた。



図11 水屋で働く留学生

5. まとめ

本年度の国際センター国際交流推進室で行った活動を資料2にまとめた。今年度は、中島財団助成留学生地域交流事業の助成金をもらうことができた。外部資金を得られたことは、本学の国際交流活動が少しずつ、理解されていることを示すものではないかと考える。

今後は、より質を高め、活動を継続していくことにより、地域との連携をより深め、他の教育機関とのネットワークを強固にし、学内の国際化の推進にも努めていきたい。

参考

早島町>早島の教育

http://www.town.hayashima.lg.jp/kosodatekyoiku/hayashima_kyouiku/index.html

(2018年11月29日)

ケア・フレンズ岡山

<https://care-okayama.jimdo.com>

(2018年11月30日)

倉敷市>倉敷国際ふれあい広場2017

<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/31655.htm>

(2018年11月29日)

日本学生支援機構>留学生支援>公益法人中島記念国際交流財団地域留学生事業

資料1 スピーチコンテスト出場者

	氏名	フリガナ	国籍	所属	スピーチタイトル
1	Joseph Burgess	ジョセフ バージェス	ニュージーランド	国際大学IPUニュージーランド	想像の大切さ
2	Doan Thi Quynh Anh	ドアン ティ クイン アイン	ベトナム	環太平洋大学	自分のことを信じてください
3	ピーター(賀 晋衍)	ピーター	香港	岡山外語学院	自由とは何ですか
4	郭思岐	カク シキ	中国	倉敷高校	故郷の海と私
5	Vo Van Hau	ヴォ ヴァン ハウ	ベトナム	環太平洋大学	ありがとうって言葉
6	Ramos Silva Melodie	ラモス シルヴァ メロディー	ルクセンブルク	岡山外語学院	私が日本に留学した理由
7	Max Walton	マックス ウォルトン	ニュージーランド	国際大学IPUニュージーランド	責任
8	Tran Thi Lan Anh	チャン ティ ラン アイン	ベトナム	環太平洋大学	一期一会
9	Pham Thi Thu Ha	ファム ティトウ ハ	ベトナム	環太平洋大学	茶道から気づいた「感謝」-感謝は人生を豊かにする-
10	A.J. Ohiwerei	A.J.オヒワリ	アメリカ		自信を持って!
11	郭 佳会	カク カカイ	中国	岡山商科大学孔子学院	日本でのゴールデンウィーク
12	陳 穎	チェン イン	台湾	創志学園高校	日本での夢・挑戦・達成
13	王 鑫	オウ キン	中国	岡山外語学院	走り出そう
14	Tran Thi Dieu Linh	チャン ティ ジエウ リン	ベトナム	環太平洋大学	本当に幸せなこととは
15	丁露露	テイ ロロ	中国	岡山大学	日本語の勉強から何を学んだのか?

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/related/kouryuujigyou/
boshu.html
(2019年8月29日)

https://w.kawasaki-m.ac.jp/cgi-image/1500/1500_MrWRJ
EnijPaxmrqjtXKKkdUwFPJypPQgKGDBBzmbgUotoQEn
hH.pdf
(2019年8月29日)

大学コンソーシアム岡山 エコナイト 2018年夏

資料2 2018年度 国際センター国際交流推進室の活動

月	日	場所	タイトル・内容等	区分	参加者	備考
4	5木	逢沢邸	お茶会	外部との交流	留学生3名	
			学校支援ボランティア(ベトナム人小学生学習支援)スタート 1年間継続事業	外部との交流	留学生 4名 参加中	
5	12土	早島町	ロゲイニング (1) 英会話塾	外部との交流	留学生25名 教職員3名参加	
	29火	IPU	welcome party	学内の国際化	77名参加 (国際交流サークル・田村ゼミの企画・運営)	
6	15土	岡山市	幡多小学校 交流会	外部との交流	留学生53名参加	
	16土	早島町	ロゲイニング (2) 英会話塾	外部との交流	留学生11名 教職員2名参加	
	30土	早島町	「IGUSAラケット卓球・世界大会 (仮)」実行委員会	外部との交流	実行委員として、現代経営学科のVO PHAN KHANH HIENさん、王偉さん、選出。	
7	1日		日本語能力試験			
	14土	泰選町商店街	エコナイト	外部との交流	留学生27名参加	
	14土	瀬戸町	瀬戸カーニバル	外部との交流	留学生17名 日本人学生3名 教職員2名参加 (現代経営学科留学生 国際教育学科留学生 国際交流サークル 秘サークル参加) これとは別に茶道サークルがお茶会も開催	
	28土	朝日町	朝日町夏祭り	外部との交流	留学生15名程度	朝日町町内会主催
8	4土	早島町図書館	「アジアの国のお話会」1	外部との交流	留学生 7名	早島町教育委員会
9	3月	赤磐市	ブドウ狩り体験	外部との交流	留学生18名参加	赤磐市主催
	8土	早島町	早島中学校 English day	外部との交流	留学生 22名参加 (NZ学生3名含む)	早島町教育委員会
	29土	早島町	「IGUSAラケット卓球・世界大会 (仮)」実行委員会	外部との交流	実行委員として、現代経営学科のVO PHAN KHANH HIENさん、王偉さん	
	22土	早島町図書館	「アジアの国のお話会」2	外部との交流	留学生 10名参加 (NZ学生5名含む)	早島町教育委員会
10			国際交流 フォトコンテスト 応募受付開始 (10月25日締切)	学内の国際化		
	7日	赤磐市 是里村	運動会	外部との交流	留学生30名参加	赤磐市主催
	20土		倉敷市 倉敷国際ふれあい広場	外部との交流	前日準備 留学生15名 当日留学生81名 日本人学生3名 ブースによる文化紹介・パフォーマンス等	倉敷国際交流協会主催
	25木		体育祭			
	27土 28日		学園祭	学内の国際化		国際交流ブース フォトコンテスト
11	4日	早島町	いきいき広場 ・出店 ・留学生ブース ・お話し3	外部との交流	留学生 64名参加 (NZ学生2名含む) 日本人学生4名参加	早島町教育委員会 中島財団助成留学生地域交流事業
	7水	岡山ガーデン	ケアフレンズ お茶会	外部との交流	留学生2名参加	ケア・フレンズ
	10土	早島町	ロゲイニング (3) 英会話塾	外部との交流	留学生9名参加	早島町教育委員会
	18日	矢掛町	ベトナム・フェスティバル	外部との交流	留学生 60人程度	矢掛町
	24土	早島町	「IGUSAラケット卓球・世界大会 (仮)」	外部との交流	留学生 選手34名 模擬店6名	早島町教育委員会
12	2日		日本語能力試験			
	8土	早島町	ロゲイニング (3) 英会話塾	外部との交流	留学生7名参加 (NZ学生1名含む)	早島町教育委員会
	15土	早島町	クリスマス会 お話し4	外部との交流	IPU-NZ学生 5名参加	早島町教育委員会
	21金	IPU	外国語 カラオケコンテスト	学内の国際化	留学生 60名程度 日本人学生 20名程度	田村ゼミ
	22土	早島町	まなびの舎+国際塾 (料理交流)	外部との交流	留学生8名参加	早島町教育委員会
1	12土	岡山市市民会館	外国人による日本語スピーチコンテスト	外部との交流・学内の国際化	スタッフ 留学生 60名程度 日本人学生 10名 参加者 日本人+外国人 300名	国際センター
	12土	早島中学校	中学生だっぴ	外部との交流	留学生 6名 日本人学生12名参加	早島町教育委員会
	19土	岡山神社・後楽園	着物を着て初詣	学内の国際化	留学生 35名参加	国際センター
2	5火	IPU	旧正月パーティー	学内の国際化	留学生 100名ほど 日本人学生10名程度	国際センター
	16土	早島小学校	パラスボディ	外部との交流	留学生 3名参加	早島町教育委員会
	22金	瀬戸南高校	料理交流会	外部との交流	留学生4名参加	瀬戸南高校
3		IPU	IPUNZ来日	学内の国際化	日本人学生 16名程度	国際センター

* この他、秋と2月に岡山市の小学生の交流会が5回ほどある。